

また現場では、  
引火しやすいパーツクリーナーや  
ガソリンを使用したり、

高温火傷の危険性がある  
エンジンルームを点検したりするから  
常に注意が必要だ。

特に引火は  
大事故にもつながるから  
危険ね！

だから安全に  
作業するためにも

ルールで定められた  
アイテムを準備し、

正しく装着してから  
作業を行ってほしい。

「墜落・転落」には  
どんな労災例がありますか？

点検作業を  
していた整備士が

降りる際に誤って  
墜落してしまう事例があった。

危険…！

それじゃあ、

実際の現場を

見てみよう！

1